

センターだより－林檎－

# りんご



放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース

平成31年4月発行



「2018年度放送大学学位記授与式」および「2018年度第2学期青森学習センター・八戸サテライトスペース学位記授与式」より  
(3月23日・4月6日・4月7日撮影)



## 祝卒業・入学／学生生活応援号



- 2 | 巻頭言～新任所長のご挨拶～
- 3 | 退任所長のご挨拶
- 4 | 2018年度第2学期学位記授与式、卒業生・修了生のことば
- 6 | 2018年度放送大学学位記授与式・祝賀パーティ、講演会レポート
- 7 | 2019年度第1学期入学者のつどい、全学生必見！学生生活をスムーズに送るために
- 8 | 2019年度第1学期客員教員からのごあいさつ
- 10 | 学生生活をもっと楽しく！各種学生団体のごあんない
- 11 | 4・5・6・7月のスケジュール
- 12 | 事務室からのお知らせ



放送大学青森学習センターホームページ  
放送大学青森学習センターホームページ

# 巻頭言

## ～新任所長のご挨拶～

青森学習センター所長 浅野 清



ようやく雪片付けの仕事から解放され、弘前城の桜の開花が待ち遠しい今日この頃、皆さんはどのように春を感じているでしょうか。舞い上がる埃に外出を控えたり、あるいは新しい人生の出発に胸おどらせているのかもしれませんが。

さて、4月より青森学習センターの所長を務めることになりましたので、ここに簡単な自己紹介を兼ねて着任のご挨拶を申し上げます。

千葉県市川市出身。専門は演奏（ピアノ）です。習い始めたきっかけは、幼少時、道路を挟んだ前の家に引っ越してきたピアノの先生が、ピアノの音がするたびに覗いている私に気付き、私の両親に「習わせてみませんか」と勧めてくれたことからです。勿論、自宅に楽器はありませんでした。練習には、「バイエル教則本」という初心者用楽譜に付録として入っていた、鍵盤が描かれた紙を使用し、その次は卓上ピアノ。白鍵のみ音が出て、黒鍵はそこに描かれているだけの物でした。そして50鍵盤くらいの小さなピアノ（普通は88鍵盤）を経てアップライトピアノを買ってもらえたのが小学校2年生の時です。当時の楽器は一つずつ手造りされたもので、サラリーマンの年収と同じくらいの値段だったと聞いています。この楽器購入にはじまり、その後の私立小学校（音楽大学附属）への転校、アメリカへの私費留学4年、ドイツへの私費留学2年と両親には経済的な負担をかけてしまいました。

父親が常々言っていたことに「貯金するより子供への投資」というのがあります。投資とは、こどもの教育優先で収入を充てるという意味です。私の姉、兄も地元の荒れた中学校には通わせたくないという父親の強い希望から都内の学校に越境入学をさせました。習い事をするにもダメと言ったことはありません。そろばん、習字、塾、合唱、日本舞踊等々なんでもやらせてくれました。『習い事で無駄になることは何もない』と子供の興味を大事にしてくれました。私たち兄弟は本当に恵まれていたと思います。

結局、私は30歳で社会人になるまで両親の援助を受けていました。34歳で弘前大学教育学部に採用され、以来、学生たちを前に、いつも父親の言葉を頭に浮かべながら指導してきました。「貯金するより投資」。貯金を経験から得た知識に置き換え、それを学生たちに惜しまず伝え、学生たちのこれからの職業、人生に実りを導くように最善を尽くすことでした。

これからもこの放送大学でみなさんの学習に寄り添いたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

### お知らせ 浅野所長 学習相談・ゼミのご案内

浅野所長の学習相談とゼミを新年度から実施します。ゼミ開講日については、先に送付のゼミ案内チラシをご覧ください。

**学習相談** ★日時：火～土の全日（祝日除く） ★相談分野：音楽全般

**ゼミ** ★タイトル：「ピアニストとピアノ音楽の歴史」 ★開催日時：指定の土曜日 13:30～15:00

★開催場所：「青森学習センター講義室」または「コラボ弘大 8階八甲田ホールC」  
（開催場所については、当日のセンター内掲示物にてご案内します。）

★使用教科書：「ピアノ音楽の巨匠たち」

（ハロルド・C・ショーンバーグ 著、後藤泰子 訳・シンコーミュージック・3,000円＋税・ISBN:9784401640195）

# ～退任所長のご挨拶～

## 「退任にあたり」

前青森学習センター所長 倉又 秀一



2015年青森学習センター所長に就任しました。放送大学の存在は認識していましたが、関わることなく、その内容の理解は皆無で、そのような状況での就任でした。さらに、事務長、教務主任、教務担当者1名も交代し新しい人が着任しました。

しかし、これまでの職員の方や新任職員のおかげで、学習センターを順調に運営していくことができました。最初の一年は修行の時代と過ごすつもりでした。ところが、4月29日の学習センターの弘前城での花見の帰り道、ちょっと足をひねった感じでしたが、右足の「第五中足骨」を骨折しました。その結果、最初の所長会議を欠席してしまいました。さらに、学習センターも少しは見えてきた2016年1月雪で滑って尻もちをつき、「第12胸椎」圧迫骨折。1年半ほどコルセットをし、立ち居振る舞いに不便を感じるようになってしまいました。1年近くたって様子もわかってきたのですが、私のこの不始末で、事務の皆様大変ご迷惑をおかけしましたし、ルーティンをこなすことだけに集中し、考えた新しいことは1年遅れで始めることになりました。

青森市の学生数が人口比で弘前八戸に劣るので、放送大学と青森明の星短大との協定締結を機に、所属の先生に学習センターの客員教員になってもらい、そこでゼミ学習相談を開いてもらい、青森市の学生の便宜を図るとともに、学生の獲得につながらないかと密かに思っています。青森市の学生さんに積極的に参加していただいています。さらに活用していただきたいと思っています。

八戸サテライトの面接授業の充実にも意を払いました。中でも、心理学実験1、2、3をすべて八戸サテライトで開講し3年かかりますが八戸サテライトで完結できるようにしました。担当の先生の御協力に感謝しております。そして、青森学習センター全体で1年間の間に1、2、3の実験を開講するようにローテーションを組みました。

むつ市で下北ジオパークに関連した講演会、シンポジウムを開きました。青森県は津軽、南部と二つに分かれるという認識は一般的だと思いますが、下北も独特の文化を持っていることを学びました。地球科学的なものだけでなく、その生活や民俗というものがジオパークには含まれるのだと教えられ、むつ市でのジオパーク関連の講演会を発展させていくことができました。

いくつか、意識して行った事業を上げましたが、これらを実施するにあたり、講師の先生や地元の方との接触に学ぶことが多い経験をしました。もちろん学生さんとの接触からも多くを教えられましたし、事務職員の方と一緒に仕事できたことも感謝しております。いろいろな触れ合いに所長の楽しさを感じることができました。

この体験からいろいろと刺激を受けて、物理を研究してきましたが、日本史を少し勉強してみようかなと放送大学の学生になりました。今後は学生として皆様と接触する機会もあるかと思いますが、先輩の学生の皆さんの御指導、お付き合いのほどよろしく願いいたします。



# 2018 年度第 2 学期学位記授与式

2019年4月6日(土)と4月7日(日)の両日、青森学習センターと八戸サテライトスペースにて2018年度第2学期学位記授与式が行われました。今回、卒業または修了を迎えた学生は、青森学習センター・八戸サテライトスペースをあわせて41名。式当日は出席者ひとりひとりに浅野所長から学位記が授与されました。

卒業生・修了生の皆様、このたびはおめでとうございます！！



青森学習センター



八戸サテライトスペース

## ★2018 年度第 2 学期 卒業生・修了生の内訳

- ・青森 SC 教養学部 計 23 名 生活と福祉… 7 名 / 心理と教育… 9 名 / 社会と産業… 1 名 / 人間と文化… 2 名 / 情報… 4 名
- ・八戸 SS 教養学部 計 16 名 生活と福祉… 3 名 / 心理と教育… 8 名 / 社会と産業… 1 名 / 情報… 2 名 / 自然と環境… 2 名
- 大 学 院 計 2 名 情報学プログラム… 1 名 / 自然環境科学プログラム… 1 名

## 卒業生・修了生のことば

### 『ワクワク経験で学位取得』

青森学習センター 生活と福祉コース 杉山 祥子

在職中から大学に入りたいという思いがありました。ただ高校を卒業して何十年もたってからの受験は厳しいかと、半ば諦めかけておりましたが、65歳で離職した頃、ある美術館で放送大学のパンフレットに出会い「あっ、これだ！」と思い、早速入学しました。

面接授業では、いろんな年代の方と席を共にし、これまではお会いするチャンスが無い講師の方々の熱心な授業に、感激したものです。試験勉強、認定試験、受験票の入ったバッグをバスに忘れ、タクシーで追いかけた失敗など、すべてワクワクした経験の4年間でした。家族や友人に「女子大生、ガンバレ」と励まされ、お陰様で卒業出来ました。今後も再入学し別のコースにトライします。

### 『2回目の卒業を迎えて』

青森学習センター 生活と福祉コース 新岡 道子

1回目の「情報」コースの卒業から2年、「生活と福祉」コースの卒業を迎えることができました。働きながらの学びは、学びたい科目を学ぶというよりは、試験の日程に合わせて科目を選び、試験の前に集中して行う学習になってしまいました。「社会と産業」コースに再入学しますが、これからは仕事をリタイヤするので、試験の日程を気にすることなく自分が学びたい科目を学習し、卒業研究にも挑戦できたらいいなと考えています。

### 『「祝！卒業」だけど…』

青森学習センター 心理と教育コース 五十嵐 祐子

放送大学へは選科履修生として入学、翌年全科履修生となり「社会と産業コース」を入学から6年で卒業。そして、卒論を書いてみたいなと思い、「心理と教育コース」に再入学。想像よりも心理学にハマリ、ゼミを受けてみたり、楽しんで学習しているうちに、あっという間に単位習得してしまいました。2年間で卒業。2度目の卒業。うれしいのですが、8年学生をしていたのに、まだ卒論書けてないです。結局やり残した卒論。これが私の課題なのかなと、今度こそチャレンジするため、4月からまた新入生やります。

## 卒業生・修了生のことば

### 『フレキシブルな学風に助けられ』

青森学習センター 心理と教育コース 匿名希望

授業料をまかなえる費用と時間と学びたい分野を学べる環境－これらは大学生活を送るうえで「あったら心強い」三要素です。今から数十年前、私が通学制の大学へ入った時にはそのいずれもマイナスレベルで持っておらず、早々に挫折してしまいました。

しかし、放送大学は本業で収入を得ながら在学でき、空き時間にスマホでも受講できるので、費用と時間の面はクリアできます。学習面では、科目の選択肢が広く、「放送授業の本命は自コースだが面接授業は他コースが大好き」という私でも、卒業要件の範囲内で好きな科目を学べました。

このたび卒業を迎えられたのは、様々な事情に対応できる学風に助けられ、三要素をクリアできた結果だと思えます。

### 『卒業メッセージ』

青森学習センター 人間と文化コース 奈良岡 有

知力・経験・創造力が培える教授の方々の授業を受けて、卒業出来、本当に嬉しいです。倉又所長様、土岐事務長様、お世話になりました。青森学習センター・八戸サテライトスペースの方々、本当にありがとうございました。

### 『支えてくれた皆さんに感謝』

青森学習センター 人間と文化コース 蒔苗 紬

私は、8年前に放送大学に入学しました。自分に障害があり、車椅子を使っているため、最初はやっていけるかととても不安でした。勉強の面でも、先生の使う言葉がとても難しく、母に解りやすい言葉で説明をしてもらっていました。

でも、2年・3年と勉強しているうちにだんだん先生の使う言葉に慣れ、理解できるようになりました。テストも最初は勉強のしかたがわからなくてとても大変でしたが、理解できることが増えていくにつれ、自分なりのテスト勉強のしかたを見つけ、実践することができました。だんだん合格できる科目も増えてきて、そのことが自分の自信と喜びになりました。

これまで、私を支えてくれた家族、送迎をしてくれたヘルパーさん、青森市民図書館の方々、そして放送大学青森学習センターの皆様には大変お世話になりました。テストのときの様々なご配慮をはじめ、丁寧な対応本当に助かりました。勉強していて孤独を感じることもありましたが皆さんのおかげで、卒業できます。

本当にありがとうございました。

### 『学習のモチベーション』

青森学習センター 情報コース 飛田 正人

仕事の傍ら勉強を続け、9年かけて卒業することができました。最初の頃はなかなか学習に向かう時間を作ることができませんでしたが、面接授業のたびに周辺の美味しい食べ物を探すのが楽しみになり、北東北3県のセンターに何度も通いました。それらの味を思い出しながら、卒業の喜びを噛みしめています。

### 『5年間お世話になりました』

八戸サテライトスペース 生活と福祉コース 浪岡 喜志雄

みなさんの支えがあって無事に卒業できる事になりました。ありがとうございました。

62歳と高齢での入学でした。はじめての面接授業はとても緊張したこと、そして種差海岸での講義では、岩や崖から滑り落ちないように必死に花や海藻を観察したこと、鮮明に覚えています。

また再入学したいと思っています。仕事を続けながらの学習になりますが頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。

### 『2回目の卒業！ 3回目にチャレンジ』

八戸サテライトスペース 心理と教育コース 石田 忠男

放送大学に入学と同時にボランティア等、高齢者の社会福祉活動に携わって、今も継続して活動しています。1回目「生活と福祉」、今回2回目「心理と教育」を卒業となります。

これまでの放送、面接授業はコミュニケーション能力向上やスキルアップに繋がっています。放送大学は、選択コースと関係ない科目でも視聴できることが魅力です。

3回目の卒業を目指してチャレンジします。

### 『これから』

八戸サテライトスペース 自然と環境コース 吉岡 弘光

やっと一つの区切りがついた感じです。長いようで短いような、面接授業や単位認定試験など、その時々のお雰囲気、気持ちが蘇ります。

いろいろな科目を学び少し物事がよく見えるようになりました。

明日に何があろうとも、前を向いて行こう。もう少し先に進んだらどんな世界がみえるのか、そう思い再入学しました。

楽しく学びたいと思います。

# 2018 年度放送大学学位記授与式・祝賀パーティ

3月23日(土)、東京・渋谷のNHKホールにて2018年度放送大学学位記授与式が行われ、全国から集まった2018年度第1学期・第2学期の卒業生・修了生が式に臨みました。



(上)NHK ホール前の立て看板前は人気の撮影スポットで、次々と学生さんらが撮影にやってきました。

(右)放送大学「大学は歌う」プロジェクトとして、学歌のほか、ベートーヴェンの「歓喜の歌(第九)」が歌われました。学位記授与式のハイライトです。



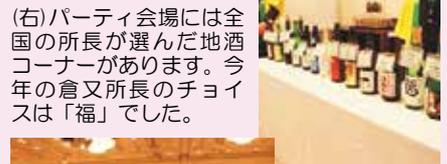
(左)ホール内では、北海道・東北ブロックの卒業生がまとまって着席します。  
(右)おなじみ「まなびー」も登場。



(左)学位記受け取り後、卒業生のみなさんで記念撮影。



(上)祝賀パーティで、来生放送大学長と参加者として記念撮影。



(右)パーティ会場には全国の所長が選んだ地酒コーナーがあります。今年の倉又所長のチョイスは「福」でした。



(左)青森SC・八戸SSのテーブルを囲んでパチリ。

青森SC・八戸SSをはじめ、全国の卒業生・修了生の皆様、おめでとうございます!! 皆様の晴れやかな姿が、のちに続く学生方においても励みになることでしょう。在学生の皆様も、卒業のあかつきには是非ご出席を!!

## 講演会レポート

3/10(日)

### 「津軽の源氏物語—高照神社所蔵『源氏物語之詞』—を読み解く」

講師：久慈 きみ代 氏（青森大学社会学部教授） 於：ユートリー5階視聴覚室



公開講演会の告知ポスター



熱心に聞き入る参加者たち

高照神社は津軽藩主4代目信正を祀る廟所として創建され、後の藩主もその維持発展に努めてきた。最近境内に隣接して「高岡の森弘前藩歴史館」が設立され、高照神社所蔵の品が展示されるようになったが、収蔵品の一つ、卷子本「源氏物語之詞」についての久慈先生の講演である。

高照神社自身も源氏物語を髣髴とさせるような渡殿も残っていた建物であるが、長い源氏物語の中から公家の能筆家に依頼して各帖から抜き書きをしてもらい、上下二巻の卷子本としたものが伝わっている。その卷子の外題は、その書が国宝級の近衛基熙によって書かれており、それが当時の古筆鑑定家により真筆であると認める書状も一緒についている。このようなものが都から離れた津軽の地にあることが大きな驚きで、その内容を研究するきっかけになった。

書の筆者の生没年などから卷子本は、元禄10年(1697)ごろには完成していたと思われるが、誰がどのような目的でこの卷子本をつくったのかはわからない。さらに、どのような経緯で津軽家に伝わったかも明らかでないが、津軽家の最後の藩主津軽承昭に継室として嫁した信姫が、この卷子本を愛読し、晩年高照神社に奉納された。信姫の生涯は源氏物語のヒロイン紫の上の人生と重なる部分が多く、信姫はわが身の境遇に重ねて愛読したのではないと思われる。

平安時代の物語からの抜き書きが江戸時代に作られたわけだが、どの部分が抜き書きされたかを見ることで、その当時の源氏物語の理解を窺うことができる。江戸時代、源氏物語の王位奪還や天下取りといった出世譚の面が強調され、男の物語とする側面も抜き書きの中に認められるが、源氏物語本来の女君が矛盾に満ちた社会の中で生きていく物語という側面も、抜き書きの中に抜け落ちずに拾われている。この点が信姫の共感を得たのではないだろうか。

卷子本の成立や、津軽家に伝わった経緯など不明の点が多いが、これらをさらに研究していくことで高照神社所蔵「源氏物語之詞」の価値を高めていくことができるので、久慈先生は研究を続け、この存在を世に知らしめていきたいと、講演を締めくくられた。

# 2019 年度第 1 学期入学者のつどい

2019 年 4 月 6 日（土）と 4 月 7 日（日）の両日、青森学習センターと八戸サテライトスペースにて 2019 年度第 1 学期入学者のつどいが行われました。放送大学学歌演奏や学長挨拶の DVD 上映、センター所長式辞、新入生と在学生代表の挨拶、学友会会長祝辞、教職員紹介のほか、オリエンテーションや施設見学などを行いました。



(上) 新入生の挨拶  
(左下) 在学生の挨拶  
(右下) 図書室・視聴  
学習室の利用方法に  
ついて説明を受ける  
新入生

4/6（土）青森 SC



(上) 新入生の挨拶  
(左下) 在学生の挨拶  
(右下) ミステリーサ  
ークルから新入生歓  
迎のマジックが披露  
されました

4/7（日）八戸 SS



## 全学生必見！ 学生生活をスムーズに送るために

新学期を迎え、これから放送大学での学習を始める新入生・在学生の方へのお知らせです。

### ■ 活用しよう「学生生活の栞」と「利用の手引き」

「学生生活の栞」および「利用の手引き」は、履修に関するきまりや、住所変更、証明書発行などの各種届出様式ほか、学生生活を送るうえで重要な事項が満載の冊子です。

新入生も在学生も大切に保管のうえ、よく読んでご利用ください。



### ■ 学生証の受け取りはお早めに

学生証は、図書室・視聴学習室の利用や面接授業の追加登録申請、単位認定試験を受験する際に必ず使用しますので、お早めに受け取りを済ませてください。

学生証の交付は、原則として青森学習センター・八戸サテライトスペースの事務室窓口にて行っております。

受け取りの際には、新規入学・継続入学生は入学許可書を、在学生で学生証の有効期限切れの方は有効期限切れ学生証をお持ちください。

なお、大学本部へ顔写真を登録していない方は学生証の発行ができませんので、システムWAKABAの「学生カルテ」または「学生生活の栞」巻末様式の「写真票」使用にて速やかに登録してください。

### ■ 学生教育研究災害傷害保険（学研災）への申込み（任意）

教育活動中や通学中における事故補償のための保険です。放送大学では通信教育に区分されており、保険料は100円、通学中の特約を含む場合は140円となります。保険期間は、入学後から学籍が続く限り最大6年間となります。（ただし、加入日にかかわらず、4月入学者は保険終期は3月31日に、10月入学者は保険終期は9月30日になりますのでご注意ください。）

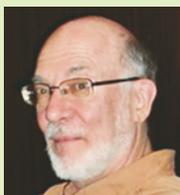
詳細につきましては、新入生の方は先に送付の『学研災』のごあんないにてご確認ください。

# 2019年度第1学期 客員教員からのごあいさつ

- ゼミ日程等詳細につきましては、事前にお送りしたゼミ案内チラシにてご確認ください。
- ゼミまたは学習相談を希望する場合は、事前に①学生氏名、②連絡先、③ゼミ名（または相談日）をお知らせのうえ事務室へお申し込みください。
- ゼミ開講日時は都合により変更・中止となる場合もあります。その際はセンター内の掲示にてお知らせしますが、掲示が見られない場合はお電話にてお問い合わせください。
- ゼミは単位にはなりません、客員の先生や他の学生たちと学べる良い機会です。お気軽にご参加ください。

## 青森学習センター（弘前市）で開講する学習相談・ゼミ

火



青森学習センター  
**カーバンター ピクター リー 先生**

弘前大学 名誉教授  
相談分野：国際政治学  
相談日：火曜日 13:30～15:30

ゼミ：「英語で文章を作成する」  
ゼミ開講日：指定の火曜日 14:00～15:00  
教科書指定なし  
開講場所：青森学習センター講義室

私の人生における大きな後悔の一つは、より多くの外国語を学ばなかったことです。中学や高校でフランス語をちょっと、大学ではスペイン語を1学期だけでやめました。単位はぎりぎり取得し、どちらも使い物になりません。大学を卒業してから日本語を勉強し始めましたが、そのおかげで日本社会を覗き込み、徐々に参入・深入りすることができました。他の言語1つか2つくらいを真剣に勉強したらいいなあって今でも思っています。しかし、その一方で、始めるには遅すぎることはありません。



水



青森学習センター  
**青山 正和 先生**

弘前大学農学生命科学部 教授  
相談分野：土壌学  
相談日：水曜日 10:00～12:00

ゼミ：「植物と土」  
ゼミ開講日：指定の水曜日 10:30～11:30  
教科書指定1冊あり  
開講場所：青森学習センター講義室

私は土壌学を専門としており、主に土壌有機物、土壌微生物や堆肥について研究しています。ゼミでは、「植物のひみつー身近なみどりの“すごい”能力」という本をテキストに、植物について様々なトピックから学ぶとともに土壌学の立場からの解説を加え、植物と土、さらには農業や環境に関しても楽しく議論する場としています。前学期からの継続ですが、新しいテキストに入ったばかりなので、今学期から参加される方、大歓迎です。



水



青森学習センター  
**水田 智史 先生**

弘前大学大学院理工学研究科 准教授  
相談分野：生命情報学  
相談日：水曜日 12:30～14:30

ゼミ：「生物の進化を考える」  
ゼミ開講日：指定の水曜日 13:00～14:00  
教科書指定1冊あり  
開講場所：青森学習センター講義室

放送大学の客員教員を務めさせていただくようになって早5年目となりました。専門は生命情報学で、コンピュータを使ったデータ解析によって、生物の進化や遺伝などに関する情報について研究しています。ゼミでは一貫して生物に関連するテーマを取り上げて、参加者の皆さんと一緒に勉強させていただいています。今学期から新たに参加していただくことも十分可能かと思しますので、興味をお持ちの方は一度のぞいてみてください。



木



青森学習センター  
**尾崎 名津子 先生**

弘前大学人文社会科学部 講師  
相談分野：日本近現代文学  
相談日：木曜日 10:30～12:30

ゼミ：「文学を通して東京の近代を体験する」  
ゼミ開講日：指定の木曜日 11:30～12:30  
教科書指定1冊あり  
開講場所：青森学習センター講義室

平成31年度より客員教員となりました、弘前大学人文社会科学部の尾崎と申します。専門は日本近現代文学です。特に20世紀前半の作品や、それを取り巻く社会状況との関係に興味を持って研究に取り組んでまいりました。本ゼミナールでは、近代を代表する作家たちが「東京」という都市をいかに見つめたかを考えることを通して、文学とは何か、と同時に、近代とは何か、といったことを一緒に話し合っていければと思います。どうぞよろしくお申し込み申し上げます。



**金**

青森学習センター

**藤田 あけみ 先生**弘前大学大学院保健学研究科 教授  
相談分野：看護学  
相談日：金曜日 14:30～16:30ゼミ：「看護学」  
ゼミ開講日：指定の金曜日 14:30～15:30  
教科書指定 1冊あり  
開講場所：青森学習センター講義室

保健学研究科の藤田あけみと申します。昨年度より客員教員として学習相談・ゼミを担当しております。専門は基礎看護学、看護教育学、臨床看護学、がん看護学です。消化器の手術療法を受けた患者様の看護や生活の質（QOL）について研究しています。

ゼミでは、これまでの研究や教育での経験を踏まえ「自己成長」「人のかかわり」について、「コーチングのすべて」というテキストに基づいて、学びを深めたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

**金**

青森学習センター

**平岡 恭一 先生**弘前大学 名誉教授  
相談分野：実験心理学  
相談日：指定の金曜日 16:30～18:30ゼミ：「老いと行動心理学」  
ゼミ開講日：指定の金曜日 16:30～17:30  
教科書指定なし  
開講場所：青森学習センター講義室

私自身3年前に教育学部を定年退職し、心身共に「古い」を感じる今日この頃であります。また、ゼミの参加者には、お年寄りの介護等の仕事をされている方もおられ、その体験が話題になるなど、古いというものに対する関心の高さを感じております。老いについては、皆さんそれぞれ様々なお考えをお持ちと思います。どうぞ遠慮なくご発言いただいで、活発な楽しい時間になればと考えております。

**青森明の星短期大学（青森市）で開講する学習相談・ゼミ****水**

青森学習センター

**内海 隆 先生**青森明の星短期大学子ども福祉未来学科 教授  
相談分野：教育学  
相談日：指定の水曜日 14:30～16:30ゼミ：「子ども論と教育」  
ゼミ開講日：指定の水曜日 15:00～16:00  
教科書指定 1冊あり  
開講場所：青森明の星短期大学

2003年から4年間ほど八戸サテライトスペースで客員教員をしておりました。その時に介護福祉関係に勤めながら学習している学生の論文指導に当たりました。その方は大学院に進み博士の学位も取得して、現在、仙台にある大学の教員として教育と研究を続けています。因みに、私自身も放送大学開学当初の選科履修生でした。

**八戸サテライトスペース（八戸市）で開講する学習相談・ゼミ****火**

八戸サテライトスペース

**根城 隆幸 先生**八戸学院大学地域経営学部 教授  
相談分野：教職課程・学校教育・生涯教育  
相談日：火曜日 15:00～17:00ゼミ：「子どもの貧困を考える」  
ゼミ開講日：指定の火曜日 15:30～16:30  
教科書指定なし  
開講場所：ユートリー 4階デザイン室

昨年度に引き続き、客員教員として学習相談・ゼミを担当いたします。公立高等学校の教員として、教育活動に取り組んできましたが、その後、実務家教員として教職課程を担当し、教員に求められる資質能力や実践的指導力の向上を目指しています。

少子高齢化の時代ですが、ゼミでは「子どもの貧困」をテーマに、子どもを取り巻く社会の状況について理解を深めながら、現在の社会状況について学んでいきます。

**水**

八戸サテライトスペース

**若生 豊 先生**前八戸工業大学工学部 教授  
相談分野：食品科学・生物化学  
相談日：水曜日 15:00～17:00ゼミ：「今日の生命科学を考える」  
ゼミ開講日：指定の水曜日 16:00～17:00  
教科書指定 1冊あり  
開講場所：ユートリー 4階デザイン室

今年度から学習相談とゼミナールを担当致します。よろしくお願いいたします。これまで、ライフサイエンス系科目の他、環境や技術者倫理などの講義を担当してきました。近年、痴呆症や種々の神経疾患が問題となっていますが、研究は脳内免疫反応の正常化に関し生薬や野菜に広く存在するテルペノイド等の働きを細胞レベルで検討しています。



# 学生生活をもっと楽しく! 各種学生団体のごあんない

## 青森同窓会

「今年度の青森同窓会の活動について  
～ぜひご参加お待ちしております～」

青森同窓会会長 関川 宏明

今年度は、5月の弘前市での定例総会を皮切りに、7月から9月頃には、同窓生と在学生とが交流を深められるよう、行事を計画しております。また、昨年度に引き続き、年末に卒業生・修了生を囲む祝賀パーティーを予定しております。そのほか、他同窓会との交流として、東北・北海道ブロック同窓会交流会が福島学習センターを会場に開催されます。

毎回の行事では、卒業生・修了生はもちろんのこと、在学生や学習センターの方々からのご参加もいただき、大変充実した場となっております。

皆さま、放送大学での学びを通して得られた知識や経験を、今後学びを始める学生に伝えるため、同窓会への参加を心よりお待ちしております。



卒業生・修了生を囲む祝賀パーティーの様子 (→)

## 学友会

「情報交換の場としての学友会に入りませんか!!」

学友会会長 田澤 豊

放送大学の学生は、他の学生との繋がりが希薄です。そのためか学習に行き詰まり学習をあきらめる方々が多いと聞いております。その時に悩みを解決する方法は、同じ放送大学の仲間とのコミュニケーションを図り、学生の方々の持っている情報や学習方法を交換して、息抜き方法などを自分なりに見つけることではないでしょうか。学友会では、その場として、春は、弘前城で「観桜会」、秋は「そば打ち」を毎年恒例行事として開催し、そのほかにも随時行事を行い会員相互の親睦と情報交換を行っております。

現代は、人と人のコミュニケーションの取り方が、多種多様になって来ています。基本は、直接「顔と顔を合わせ話す事」ではないでしょうか。

是非、学友会への参加をお願いします。申込受付は学習センター事務室にお願いしております。



「そば打ち」体験でのひとコマ (→)

## ミステリーサークル

「八戸ミステリーサークル・会員募集!」

ミステリーサークル総長 上野 光弘

通信制大学は、孤独になりがちであることから、卒業まで強い意志が求められます。ミステリーサークルは、学生相互の研鑽、親睦と交流を目的に活動しています。会費は無料です。学習相談も実施しております。一人であれこれ考えるよりも実体験をした先輩から話を聞くことが有利なことも多いです。お互いに励ましあえる仲間を作ることをお勧めします。

入会したい方は、サテライト事務にご連絡下さい。

月に一回ペースで部屋を確保して活動しています。その時には、お子さん連れやお友達とご一緒でも大丈夫ですので、ぜひ一度遊びにいらしてもらえたらと思います。



文化祭での写真絵画展 (→)

## サイコロサークル

「サイコロサークル会員募集中」

写真は、勉強会の様子です。この日は、3人の「発達理論」を先生から解説して頂きました。精神分析のフロイト、認知心理学のピアジェ、行動派のスキナーの理論です。ディスカッションでは、人種、国、文化を超えて共通した発達があるという子育てや孫の観察などを通じて得たエビデンスと一致したようです。サークルでは、楽しみながら知識の習得や心理学的な視点を養ったり、情報交換などを行っています。



平岡先生との勉強会の様子 (→)

※上記4団体に入会ご希望の方は、青森学習センターまたは八戸サテライトスペースへお問い合わせください。

### ★学生団体の設立について★

学生が研究やスポーツなどのため、サークル・学生団体などを結成しようとするときには、学生(科目履修生・修士科目生以外)の中から責任者を定め、「学生団体設立願」等を4月又は10月に責任者が所属する学習センターへ提出し、設立の許可を受ける必要があります(詳細「学生生活の楽」教養学部版 P122参照)。詳細については、青森学習センター事務室へお問い合わせください。

# 4月・5月・6月・7月のスケジュール

■ 閉所日 ■ 面接授業 ■ 試験 ■ 通信指導提出締切

4月	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

5月	月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

6月	月	火	水	木	金	土	日
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

7月	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

## ●単位認定試験期間中の駐車場について(青森SC)

7月19日(金)～7月28日(日)の単位認定試験期間中の平日は、弘前大学の駐車場が利用できません。青森学習センターで受験の方は、鉄道、バス、タクシーなど公共交通機関をご利用ください。

- 単位認定試験期間中の閉所日 7月26日(金)
- 単位認定試験後の閉所日 7月30日(火)

## 4月

- 6日(土) 2018年度第2学期学位授与式・2019年度第1学期入学者のつどい(青森)
- 7日(日) 2018年度第2学期学位授与式・2019年度第1学期入学者のつどい(八戸)
- 10日(水) 教員免許更新講習(夏期)受付開始《～5/17》
- 13日(土) 2019年度第1学期面接授業空席発表(12時)追加登録事前申請受付開始《～4/18》
- 19日(金) 2019年度第1学期面接授業追加登録先着申請受付開始《～各科目の受付期限まで》

### ■面接授業■

- 20日(土)～21日(日) 「リスクコミュニケーション論」(八戸)
- 27日(土)～28日(日) 「対人行動の心理学」(青森)  
「プレゼンテーションの理論と実践」(青森)  
「新生児期～3歳未満の発達と特徴」(八戸)

## 5月

- 1日(水) 2019年度夏季集中科目履修生出願郵送受付開始《看護:5/31、司書教諭:6/7 本部必着》
- 7日(火) 2019年度夏季集中科目履修生出願・科目登録 WEB 受付開始《看護のみ:6/3 17時まで》
- 14日(火) 2019年度第1学期通信指導提出受付開始(WEB、10時～)
- 17日(金) 教員免許更新講習(夏期)受付締切《17時まで》
- 21日(火) 2019年度第1学期通信指導提出受付開始(郵送)
- 24日(金) 単位認定試験受験センター変更願提出締切《郵送、本部必着》
- 31日(金) 単位認定試験受験センター変更願締切《WEB、24時まで》

### ■面接授業■

- 11日(土)～12日(日) 「青森りんごの歴史と経済」(青森)
- 18日(土)～19日(日) 「有機と無機の間の化学」(青森)
- 25日(土)～26日(日) 「心理学実験2」(青森)  
「ヒューマンインターフェース入門」(八戸)

## 6月

- 4日(火) 2019年度第1学期通信指導提出締切《郵送は本部必着、WEBは17時まで》
- 15日(土) 2019年度第2学期出願受付開始(WEB・郵送)《～9/20、教養学部・大学院修士選科生および修士科目生》
- 16日(日) 卒業研究ガイダンス(青森)

### ■面接授業■

- 1日(土)～2日(日) 「英語の絵本の世界へようこそ」(青森)  
「自然災害科学」(八戸)
- 8日(土)～9日(日) 「色々な噴火～減災の基礎知識～」(青森)
- 15日(土)～16日(日) 「発掘が語る縄文文化」(青森)
- 22日(土)～23日(日) 「青森の美術～棟方志功と縄文」(青森)
- 29日(土)～30日(日) 「白神学～白神の動物と植物」(青森)  
「歴史と法との対話」(八戸)

## 7月

- 19日(金) 2019年度第1学期単位認定試験(大学院)《～7/20》
- 21日(日) 2019年度第1学期単位認定試験(教養学部)《～7/28》

### ■面接授業■

- 6日(土)～7日(日) 「ヨーロッパとは何か:歴史と理念」(青森)  
「環境と生物～種差海岸で考える～」(八戸)
- 13日(土)～14日(日) 「明日の健康と予防への取り組み方」(青森)  
「福祉マネジメント論」(八戸)

## ●2019年度第2学期 学生募集●

教養学部生・大学院修士選科生および修士科目生を募集します。詳細は放送大学ホームページにてご確認ください。

**募集期間:6月15日(土)～9月20日(金)**



# 事務室からのお知らせ



## 通信指導を提出しましょう (詳細「学生生活の菜」教養学部版P 6 8、大学院版P 6 3参照)

通信指導を提出し、合格して初めて単位認定試験の受験資格が得られます。未提出あるいは提出期限までに到着しなかった場合は評価の対象とはならず、単位認定試験が受けられませんので、余裕を持って提出してください。

5月7日までに通信指導問題が届かない場合は、大学本部(総合受付 TEL:043-276-5111)に連絡してください。

### ★提出期間

- ・郵送の場合…5月21日(火)～6月4日(火)※大学本部必着
- ・「Web通信指導」の場合…5月14日(火)10:00～6月4日(火)17:00

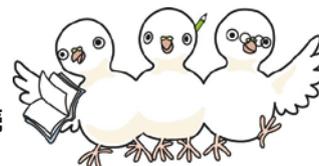


## 受験センター変更をご希望の方へ (詳細「学生生活の菜」教養学部版P 7 2、大学院版P 6 7参照)

単位認定試験は、原則として所属学習センターにおいて受験することになりますが、転勤・転居等のやむを得ない事情および通勤・通学等地理的な関係等のため、所属学習センター以外での受験が便利な場合は、受験センターの変更手続きをしてください。**住所変更手続きだけでは受験センターの変更はできません。受験センター変更をご希望の方は、下記の方法で必ず受付期間内に手続きをしてください。**

### ★手続き方法と受付期間

- ・システムWAKABAでの手続き  
…4月1日(月)9:00～5月31日(金)24:00
- ・『単位認定試験受験センター変更願』(「学生生活の菜」巻末様式)での郵送手続き  
…4月1日(月)～5月24日(金)  
※大学本部学生課単位認定試験係必着(〒261-8586千葉県市美浜区若葉2-11)



## 2019年度夏季集中科目履修生募集

夏期学習期間に「看護師資格取得に資する科目」と「学校図書館司書教諭講習」を開設します。

本学教養学部在籍中の方も、下記の期間に科目登録すると夏季集中型科目を履修することができます。募集要項は事務室窓口で配布しており、お電話・放送大学ホームページからも請求できます。(放送大学ホームページ URL <https://www.ouj.ac.jp/>)  
※放送大学に在学中で、第1学期に休学している場合は夏季集中型科目を履修できませんのでご注意ください。

### 【出願・科目登録期間】

- (看護・郵送)5月1日(水)～5月31日(金)私書箱必着
- (看護・Web)5月7日(火)9:00～6月3日(月)17:00
- (司書教諭・郵送のみ)5月1日(水)～6月7日(金)私書箱必着

## 再視聴施設をご利用ください

学習センターやサテライトスペースのほかにも、放送授業を再視聴できる施設を設けています。青森県内には、青森市の青森市民図書館内「青森学習センターあおり校」、むつ市のむつ市立図書館内「青森学習センターむつ校」があります。お近くにお住まいの方は是非ご利用ください。

- 視聴はどなたでもできますが、教材の館外貸出は放送大学生に限りです。再視聴施設では、当面は教材の貸出を続けております。
- ご利用の際は、各図書館の利用案内に従ってください。また、利用の際には学生証をお持ちください。
- 上記再視聴施設では、学習相談や各種手続き等は受け付けておりません。
- 再視聴施設へのご要望・放送教材のリクエスト希望については、青森学習センターへお寄せください。

## 職員の紹介

### 【青森学習センター】

センター所長:浅野 清  
事務長:工藤 弘文  
総務主任:乗田 朋宏  
総務担当:細野 拓也

教務主任:小田桐 昭人  
教務担当:比内 尚子  
教務担当:相馬 純子  
受付・図書担当:工藤 稚智  
受付・図書担当:煤田 紗夜香



### 【八戸サテライトスペース】

総括主任:嶋脇 郁夫  
受付・図書担当:佐藤 香織  
受付・図書担当:赤坂 春花



よろしくお願いたします!!

青森学習センター	〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大7階 TEL:0172-38-0500 FAX:0172-38-1299 Twitter:@aamoricer
八戸サテライトスペース	〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22 八戸地域地場産業振興センター(コートリー)4階 TEL:0178-70-1663 FAX:0178-70-1667
青森学習センターむつ校	〒035-0073 青森県むつ市中央2-3-10 むつ市立図書館内 TEL:0175-28-3500 FAX:0175-28-3400 (※視聴・貸出のみ対応)
青森学習センターあおり校	〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7 青森市民図書館内(アウガ8階) TEL:017-776-2455 FAX:017-776-2400 (※視聴・貸出のみ対応)
放送大学ホームページ	<a href="https://www.ouj.ac.jp/">https://www.ouj.ac.jp/</a>

